

議会だより

No.90

令和5年7月15日号

今月の瀬美半島の花
「ヒマワリ」



令和5年第2回定例会 (6/8~6/26)

- 定例会で決まったこと 2 ページ
- 議案一覧・主な質疑 4
- 一般質問 (代表質問・個人質問) . . . 6

令和5年第2回臨時会 (5/15)

- 臨時会で決まったこと・議案一覧・主な質疑 . 13

その他

- 議員とたはらトーク 14
- 議会の活動 15
- 政務活動費 15



笑顔いっぱい、はいチーズ

あかばねこども園の皆さん (インタビュー16ページ)

含む全34議案を審議

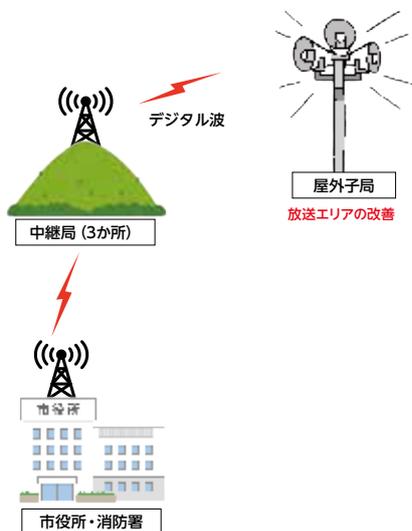
令和5年 第2回 定例会 (6月8日～6月26日)

このようなことが決まりました

市長提出議案 34件

令和5年第2回定例会を6月8日から6月26日まで開催しました。
市長提出議案34件のうち、人権擁護委員候補者の推薦1件は異議なしと決定、
農業委員会委員の任命など33件は、いずれも原案のとおり同意・可決しました。

▷ 関連4～5ページ



老朽化したアナログ式の防災行政無線をデジタル式の設備に切り替え、放送エリアの改善や合成音声放送（文字を音声変換）など機能の向上を図ります。

同報系防災行政無線を更新
整備します

議案第62号同報系防災行政無線デジタル化整備工事請負契約

災害復旧事業補正予算を

議案第64号中央図書館等空調設備及び照明器具（LED化）
改修工事請負契約

空調設備と照明器具を改修し、
快適な読書環境を整備します

工事期間中、冬季3週間程度の臨時休館を予定
していますが、その他は部分的に閉鎖をしなが
らの工事とし、開館サービスについては、利用
者の利便性の確保に努めます。



議案第65号令和5年度一般会計補正予算（第3号）

酪農経営継続緊急支援補助金
等を含む予算を可決しました

物価高騰の影響を受ける酪農家や鉄道事業者を
支援する経費、食費等の物価高騰に直面する就
学援助が必要な小中学生を支援する経費、若年
がん患者の在宅療養費を支援する経費が盛り込
まれました。



令和5年第2回定例会議案一覧

議案 市長提出議案

34 人権擁護委員候補者の推薦
(三浦 修司 氏)

57~35 農業委員会委員の任命

58 職員の給与に関する条例の一部改正

59 市税条例の一部改正

60 印鑑条例の一部改正

61 火災予防条例の一部改正

62 同報系防災行政無線デジタル化整備
工事請負契約

63 福江小学校教室棟長寿命化改修工事
請負契約の変更

64 中央図書館等空調設備及び照明器具
(LED化) 改修工事請負契約

66 救助工作車購入契約

65 令和5年度補正予算
一般会計(第3号)

追加議案

議案 市長提出議案

令和5年度補正予算

67 一般会計(第4号)

※賛否の分かれた議案はありませんでした。

主な質疑

議案に対する
委員会・本会議での
議員の質疑・意見です

議案 No.63

福江小学校教室棟長寿命化改修工事請負契約の変更

問

工法変更の具体的な内容は。

答 壁やはりなどに一部で想定以上にクラックが発生していたため、補修材の注入箇所が増加や炭素繊維補強材へ変更する。この他、劣化状況に合わせて追加工事を行う。

問 図書室への空調設備の追加について、なぜ当初契約ではなく変更契約で行うのか。

答 福江小学校の長寿命化改修工事は昨年の9月議会議決後から工事を進めている。小中学校特別教室の空調整備の予算は昨年12月議会で承認されたが、別々に工事発注するよりも今回の工事で一体的に実施した方が、施工面・コスト面において効率的であると判断したため。

議案 No.64

中央図書館等空調設備及び照明器具(LED化) 改修工事請負契約

問

契約工期が令和6年5月22日と長い期間の工事になるが、工事期間中の図書館利用者への配慮は。

答 部分的に閉鎖しながら工事を行い、開館サービスを続けるが、足場等が必要な作業を集中的に行う期間として、冬季3週間程度の臨時休館を予定している。その場合も、予約した本の受取窓口を設置するなど、利用者の利便性確保に努めていく。

問 図書館には書物を閲覧するだけでなくいろいろな空間があるが、それぞれの空間に合った利用者配慮した照度設計となっているのか。

答 中央図書館建設時には、場所ごとに最適な照度計算がされているため、基本的には現状と同等の照度を維持できるよう改修工事を行う予定。建設後、ガラス面に遮熱と飛散防止を兼ねたフィルム貼り工事を実施した影響で、一部暗く感じる場所も、適切な照度となるよう今回の工事で設備の増設を行う。

議案 No.58

職員給与に関する条例の一部改正

問

防疫作業に係る特殊勤務手当の額は、どのように市長が定めるのか。

答 詳細な作業の内容および手当の額については、人事院規則に準じて給与規則等で定めていく。

問 施行期日は公布の日とあるが、既存の新型コロナウィルス感染症の位置付けが5類に変更された日にさかのぼって適用しなくてもよいのか。

答 現時点では、新たなウィルスの発生は確認されておらず、発生した場合でも指定されるまでには時間を要することが見込まれ、手当の支給に影響はないため、施行期日は公布の日としている。

議案 No.59

市税条例の一部改正

問

森林環境税は、令和6年度から市・県民税の均等割の枠組みを用いて、1人年額千円を賦課徴収するとのことだが、均等割の税率等の内容に変更はあるのか。

答 令和5年度の市・県民税の均等割等は、年額5500円である。令和6年度は、東日本震災からの復興等のため、市・県民税の均等割をそれぞれ年額500円引き上げているのと、あいち森と緑づくり税の年額500円が、令和5

田原市議会だより 第90号 (2023年7月)

4

年度で徴収期間を終えることから、新たに賦課される森林環境税の年額千円を含め年額5千円となる。

問 道路交通法の一部改正により、一定の要件を満たす電動キックボードなど新たな車両区分「特定小型原動機付自転車」が創設されるが、該当車両かどうかの区別はどのように行うのか。

答 販売事業者の作成する販売証明書や製品カタログでの確認の他に、地方運輸局による型式認定番号標や、性能等確認実施機関による性能等確認シールによって該当車両であるかを確認する。

(6/15 総務産業委員会)

議案 No.65

令和5年度一般会計補正予算(第3号)

成人保健事業

問 若年がん患者在宅療養支援事業費補助金の算出根拠を2名、6か月とした理由は。

答 県の試算した終末期を迎えるがん患者の人数や、市内医療機関や、介護支援事業者への聞き取りなどにより、2名とした。また、県が

試算した平均在宅療養期間を用いて算出し、6か月とした。

問 制度の周知方法をどう計画しているのか。

答 ホームページと広報紙での周知の他、市内の医療機関や近隣市でがん治療を行っている病院、介護支援事業者へ制度を周知し、今後、対象となる患者等に、制度の情報提供をもらうよう依頼していく予定。

畜産振興事業

問 酪農経営継続緊急支援補助金を1頭1万6千円にした根拠は。

答 市内酪農家の令和4年度の生乳販売による収益、国・県による対策補助金を調査するとともに、経営継続に必要なとされる金額を県や愛知県酪農農業協同組合、JA愛知みなみと意見交換を重ね、決定した。

問 今回乳用牛にした理由は。

答 他の畜種に比べ酪農業は生産費の上昇が販売価格の上昇率を大きく上回っている状況であることに伴い、経営継続が危ぶまれる状況であるため、酪農に特化した支援を行うこととした。

問 補助金はいつ頃交付されるのか。

答 議会承認後、早々に案内通知を発送し、速やかに交付手続を進め、7月中旬を目途に交付していきたい。

小学校教育扶助事業

中学校教育扶助事業

問 低所得就学者就学支援金の支給額を1人当たり5万円とする根拠は。

答 学用品や給食費などが、1年間でおおむね1人当たり5万円程度になっていること、国による低所得の子育て世帯生活支援特別給付金が1人当たり5万円であることを踏まえて決定した。

問 今後のスケジュールは。

答 所得審査などを経て、就学援助費の受給者が決定する見込みであり、国の給付制度の対象者との突き合わせ後、対象者には7月中旬に申請書を発送し、8月中旬に支給できるように準備を進めていく。

(6/16 予算決算委員会)



議案 No.67

令和5年度一般会計補正予算(第4号)

災害復旧事業

問 市道越戸西海岸線については、測量調査費として計上されているが、復旧に向けてどのように計画しているのか。

答 8月に国の災害査定を受ける予定のため、査定後、工事の発注を進めていく準備をする。

問 今回の補正では、多くの案件があるが、どのように進めていくのか。

答 規模や内容に応じて市の道路作業員での復旧を行いつつ、それ以外には土木協会との災害応援協定に基づき、業者に依頼し、早急な復旧に努めたい。

(6/26 予算決算委員会)

■陳情を審査しました

▽最低賃金の大幅引上げと全国一律化、中小企業支援の拡充と公正取引を求める意見書の提出を求める陳情

他7件

文教厚生委員会および総務産業委員会にて陳情をそれぞれ審査した結果、全て不採択となりました。

※陳情結果はホームページでもご覧いただけます。



ここが聞きたい

一般質問



一般質問とは、議員が自身の考えや市民の皆さんの声をもとに市の行財政全般について方針や執行状況などを質問することです。

代表質問

渥美半島道路早期実現に向けた取り組みとは

県や豊橋市と広域道路ネットワークとして必要な道路であることの共通認識を醸成する



村上 誠

自由民主党田原市議団



市政運営の基本的な考え方について

問 「世界に誇れる花のまち」に挑戦するとは、どのように取り組んでいくのか。

答 花き産出額日本一である「花のまち」としての魅力や知名度がまだまだ不十分。市民・団体・事業者等と一緒に、景観整備や情報発信等について検討・実施をしていく。

問 今後、ふるさと納税をどう活用し、活力あるまちづくりにつなげるのか。

答 本市の地域資源を活用した新たな体験型の返礼品等を検討し、関係・交流人口の拡大や活力あるまちづくりにつなげていきたい。

問 渥美病院の産婦人科・小児科の充実のため、どのように支援していくのか。

答 医師確保や医療機器の更新等の支援について協議し、市内で出産や子育てができる環境を整えていく。

問 市街地活性化に向け、どのような点に重点を置いて取り組んでいくのか。

答 低未利用土地や空き家・空き店舗等の既存ストックを最大限活用できるよう努めていく。

問 渥美半島道路の早期実現に向け、どのような取り組みを考えているのか。

答 高規格道路としての役割が期待されるため、県や豊橋市と広域道路ネットワークとして必要な道路であるとの共通認識を醸成する。

問 こども園等の保育料や給食費の無償化は、どのような点に留意して進めるのか。

答 将来に向けて継続的に実施できるよう、開始時期や実施方法等の検討を進めていく。

問 市民プールの整備はどのような方針で進めるのか。

答 学校のプール機能、子育て支援や健康増進等さまざまな市民サービス提供の可能性に留意し、子どもたちが夢を持つことができるような施設となるよう検討していきたい。



平松 昭徳
市民クラブ

代表質問

子育て支援の成果をどう評価しているか

さまざまな取り組みにより、子どもを産み、育てやすい環境づくりにつながった



市長の所信表明について

問 2期8年を総括する中で、子育て支援の成果をどう評価しているか。

答 不妊治療支援や産後ケアの充実、相談体制の拡充など、きめ細やかな支援に努めるとともに、365日保育の実現や保育園の統合・民営化、「おひさま病後児保育室」の新設などによる子育てと就労の両立支援など、さまざまな取り組みにより、子どもを産み、育てやすい環境づくりにつながったと考える。

問 地域の活力を維持するため、市内への定住・移住促進、関係・交流人口の拡大をどのように考え、取り組みを進めていくのか。

答 本市の持つ魅力を市内外に発信していくことが重要と考えており、定住・移住促進奨励金などの居住支援や、「たはら暮らし定住・移住サポーター」による情報発信、ふるさと納税制度を活用した特産品等の魅力発信や、地域資源を生かした体験型観光「たはら巡り～な」などを継続していく。

問 さまざまな施策を展開し実現させるためには組織力が重要と考えるが、今以上に組織力を向上させるため、職員に期待することや人材育成への取り組みをどのように進めていくのか。

答 人材育成基本方針に沿って、職員が各自の力を最大限に発揮し、さまざまな課題に取り組むことで、住民福祉の向上に寄与することを期待するとともに、職場だけではなく地域での活動にも積極的に参加するなど、市民に寄り添い、信頼される、人間性豊かな職員の育成を目指していきたい。



代表質問

P 6 自由民主党田原市議団 村上 誠 市政運営の基本的な考え方について

P 7 市民クラブ 平松昭徳 市長の所信表明について

個人質問

P 8 辻 史子 自転車の正しい利用法とヘルメット着用努力義務について
空き家対策について

P 8 真野 尚功 田原市学校教育振興計画の取組について

P 9 中野 哲伸 防災活動について

P 10 古川 幸宏 観光施策について

P 10 山上 勝由 農業の担い手支援について

P 11 中村健太郎 子育て支援施策について

P 12 小川 金一 田原市デジタル社会形成方針について

P 13 岡本 重明 住みたい・住み続けたいまちづくりについて



一般質問

改正空家特措法を踏まえた 今後の空き家対策は

今後も空き家等の発生抑制や適正管理の周知、利活用の促進を図り、所有者等に対する措置も検討していきたい



辻 史子

公明党田原市議団



自転車の正しい利用法とヘルメット 着用努力義務について

問 自転車の正しい利用法について、市民に対しての啓発の取り組みは。

答 児童生徒に対しては、交通指導員を派遣した交通安全教室や自転車教室の開催、高齢者に対しては、高齢者自転車大会を実施するなど、普及啓発を行っている。

問 渥美半島にサイクリングに訪れる方が増えているように思うが、サイクリストのタイヤがパンクするなど突然のトラブルが発生した場合の対処方法は。

答 公共施設7施設や渥美半島サイクルサポーター制度認定事業所には、サイクルラックが設置され、自転車修理キットなどを利用できる。



問 改正道路交通法の施行により、本年4月1日から自転車に乗る際のヘルメット着用が努力義務となったが、どのように周知啓発していくのか。

答 これまでの普及啓発に加え、特に高校生や一般の大人に対し、自転車事故の恐ろしさや命の大切さを呼びかけるとともに、SNSなどのツールを活用しながら周知啓発に努める。

空き家対策について

問 放置すれば特定空家等になる恐れがある空き家を管理不全空家等と位置づけ、市町村長が指導・勧告できることなどの内容を盛り込んだ改正空家措置法を踏まえ、今後どのような空き家対策を行うのか。

答 今後も空き家等の発生抑制や適正管理の周知、利活用の促進を図るとともに、所有者等に対する措置についても国の示す基準等を踏まえ、本市の実態に合わせた制度の活用について積極的に検討していきたい。

問

地域と学校を結びつける役割を果たす地域コーディネーターの活用について、市の考えは。
 全中学校へ地域コーディネーターの配置を進めるとともに、各学校に配置された地域コーディネーターの活動や、学校と地域間との連携を支援する統括コーディネーターの配置等も検討し、地域コーディネーターの有効活用を進めていきたい。

問

市内小中学校におけるコミュニティスクールと地域学校協働活動の現状と評価は。
 令和元年度に福江中学校がコミュニティスクールとなつて以降、現在、6校となっており、設置校の拡大が進んでいる。また、福江中学校をはじめ4校区は地域学校協働本部を設置し、地域住民や団体等のネットワークをつくりながら活動を進めている。

田原市学校教育振興計画の取組について

地域コーディネーターの活用について市の考えは
 統括コーディネーターの配置等を検討し、地域コーディネーターの有効活用を進めていきたい



真野 尚功

自由民主党田原市議団





中野 哲伸

自由民主党田原市議団



自主防災組織活動への行政の支援とは

人的支援として防災訓練指導などや金銭面では自主防災活動奨励金などの支援がある

防災活動について

問 自主防災会の活動に対する人的・金銭的な援助、防災に対するアドバイスなど、行政の支援が不可欠だと思うが、自主防災組織の活動への支援とは。

答 人的な支援として、防災訓練の指導、自主防災会活動や支援制度などを説明する防災事務連絡会や市政ほーもん講座、防災リーダー研修会などを開催。また、避難所開設時に避難所担当職員を派遣している。金銭面では、自主防災活動奨励金や自主防災施設等整備補助金、地区集会所等耐震改修補助金などの補助制度を設けて自主防災活動を支援している。

問 自主防災活動推進協議会では毎年2地区を自主防災活動推進地区に指定し活動を行っているが、訓練後のフォローはどのように行っているか。

答 地域からの要請に応じ職員が出向き、活動に関する相談や訓練、講演を行うなど対応している。推進地区としての活動終了後も、それをきっかけとして地域の方たちが主体性を持って、避難所開設、運営訓練を行っている地域があると把握している。

問 低下が懸念される防災意識向上に向けての啓発活動について、今後の取り組みの方向性は。

答 新型コロナウイルス感染症の位置付けが5類へと移行したことから防災カレッジや市政ほーもん講座、子ども防災教室の開催を通常に戻すとともに内容の充実を図りながら意識啓発に努めていく。

問 地域で行われる防災訓練に小・中学生にも参加してもらうことは考えられないか。

答 一部のコミュニティ協議会では中学生が訓練に参加しているところがある。本年度は市の総合防災訓練に対象地域となる学校の協力の下、初めて中学生が訓練に参加する。



問 小中学校におけるICT環境の整備とGIGAスクール構想の現状と評価は。

答 一人一台端末と高速大容量の通信ネットワークの一体的整備が完了し、全小中学校でオンライン授業が可能になっている。端末の活用状況としては毎日活用が45%となっており、校外学習での活用も増えている。

問 情報技術に関する教員の資質を向上させる取り組みや教員への支援体制は。

答 夏季休業中にタブレット端末の活用について、さまざまなレベルの研修を行っている。また、各学校にICT支援員の滞在する日进行を設け、授業支援やICT環境の整備の支援をしている。さらに、教育委員会が研究委嘱した小学校が、ICTを活用した授業や校務の在り方を研究し、発表することで、他の教員にも実践の成果を広げていく。

アフターコロナにおける観光施策について 市の考えは

新たなニーズや旅のスタイルに対応した観光施策を行うことが重要であると考え



古川 幸宏
自由民主党田原市議団



観光施策について

問 アフターコロナにおける観光施策について市の考えは。

答 地域資源の発掘や価値を高めながら、新たなニーズや旅のスタイルに対応した観光施策を行うことが重要と考える。引き続き、外国人旅行者のニーズも把握し、受入環境整備や情報発信に努め、減少した観光消費の回復を図っていききたい。

問 国内外の観光客から選ばれる観光地となるためには、広域的な連携が重要と考えるが、本市の観光広域連携の取り組みは。

答 事業目的やターゲットに応じ、愛知・名古屋観光誘客協議会などさまざまな観光広域連携事業に参画している。多様化するニーズに応え旅先として選ばれるために、各地の地域資源をつなぎ、エリアとしての魅力をさらに高めることが重要であり、今後も目的に応じて観光広域連携に積極的に参画していききたい。

問 アフターコロナにおける今後の具体的な展開について市の考えは。

答 本市には、農業体験など校外学習に適した滞在型コンテンツが数多くあるため、ラーケーションなど新たなニーズを取り逃がすことがないように対応し、同様に滞在型コンテンツを売り出している近隣自治体と連携しPRをしていきたい。インバウンドについては、Wi-Fiや外国人観光案内所など受入環境整備を引き続き進めていく。

問 本年5月に設立された「一般社団法人ほの国東三河観光ビューロー」とどのように関わっていくのか。

答 東三河観光の魅力向上やマーケティング分析に基づいた確かなターゲット設定など、専門的知見の活用を期待している。そのため、同法人が行う事業に積極的に参画するとともに、会員間連携を一層強化し、滞在時間延伸と観光消費拡大を図っていく。

※ラーケーション
ラーニング（学習）とバケーション（休暇）を組み合わせた造語で、公立の小中学校と高校などで平日に年間3日の休みが取れるという取り組み。保護者との校外学習をするために設けられるもので、欠席扱いにはならない。

農業の担い手支援について

スマート農業を推進していく上での課題は、導入コストが高額である、機器に触れる機会や活用方法に詳しい人材が不足していること



山上 勝由
自由民主党田原市議団



問 農業の将来は、意欲ある若者が農業に魅力を感じ就農し、牽引役として成長することにかかっていると思うが、若者へ農業をアピールする方法の一つであるスマート農業を推進していく上での課題は。

答 導入コストが高額であることと、導入前に機器に触れる機会や効果的な活用方法に詳しい人材が不足していること。

問 優れた技術や機器に農家が直接体験できる機会を提供していくことが必要と考えるが、市の考えは。

答 これまでも先端技術に関する研修や先進地視察、県や農協でのスマート農業機器や機械の展示、体験会を実施している。今後も連携を図りながら、スマート農業に触れる機会を提供していききたい。



中村 健太郎

国民民主党田原市議団



子育て世代同士のつながりを支援するための取り組みとは

「生まれる前からつながる交流支援」と「親子が安心して集える場所での交流支援」を通して、子育て世代のつながりを支援している

子育て支援施策について

問 本年4月、こども健康部が設置されたが、今後どのような施策を展開していくのか。

答 「子どもたち自身が笑顔で健やかに育っていく環境」の実現を目指し、伴走型の相談支援の充実に加え、子育てを社会全体で支える施策を展開したいと考えている。

問 子育てを社会全体で支える施策について、どのようなことを検討していくのか。

答 子育てに困難を抱える世帯が顕在化している状況を踏まえ、支援の担い手の育成や身近な子育て支援の場の確保等、地域の今ある資源を生かした支援体制の拡充等について、研究・検討していく。

問 本市には「子育て世代包括支援センター」と「子ども家庭総合支援拠点」があるが、設置が努力義務とされた「こども家庭センター」の設置について市の考えは。

答 子育て支援体制のさらなる強化に向けて、今後、国から示される運営に関するガイドラインを踏まえ、設置に対し前向きに検討していく。

問 こども家庭センターの設置に向けての課題は。

答 支援をマネジメントする統括職員には、「こども家庭福祉の認定資格」が求められていることから、資格の取得と併に、継続的な取得者の人材確保も課題となってくると考える。

問 育児の孤立化や育児不安の深刻化が課題となる中、子育て世代同士のつながりを支援するための取り組みとは。

答 「生まれる前からつながる交流支援」と「親子が安心して集える場所での交流支援」などを通して、子育て世代のつながりを支援できるよう取り組んでいる。



問 民間企業や大学、関係機関とは、具体的にどのような取り組みをしているのか。

答 情報通信技術を活用した自動運転機器の活用について、民間企業の実証実験への協力を進めている他、作物の収穫適否を測定する機器の実証実験を大学と連携して行っている。

問 農業経営の安定対策の一つとして収入保険への加入が有効と考える。近隣市町では収入保険の保険料に支援をしているが、市の考えは。

答 本市の加入率は31%で、県全体の平均18%と比較して高い状況にある。保険への加入は、農業者自身が経営におけるさまざまなリスクの想定や経営計画を踏まえて判断するべきであると考えている。



「生成型AI」の活用について、市の考えは

市民の信頼を確保することを念頭に、業務での利用範囲や導入方法などを検討することが重要と考える



小川 金一
自由民主党田原市議団



田原市デジタル社会形成方針について

問 「田原市デジタル社会形成方針」における現時点での取り組み状況は。

答 個人認証の基盤となるマイナンバーカードの普及や活用の拡大の他、導入が期待できる新しい技術の有効性を検討するため研究会等を設置し、システム等の実証実験などに取り組んでいる。また、デジタル導入の現状を把握・整理し、公表するための田原市DX白書の作成に取り組んでいる。

問 これから導入を検討する研究会の設置の取り組み内容は。

答 これから設置する「書かない窓口」の導入に関する検討会は、市役所へ各種手続に来た市民が、窓口で何回も住所・氏名を書かなくても済むように、マイナンバーカードなどを利用して効率的に処理ができるようにしていくもの。

問 方針に掲げている目標を達成するため推進体制を、もう少し市民参画型にはできないか。

答 各種研究会において、市民、地域、事業者等のニーズの把握やそれらと連携する体制を構築してい

る。今後もDX推進には市民や事業者等との連携に努めていく。

問 全国の自治体で活用の動きが出ている生成型AIの活用について、市の考えは。

答 国や県での議論や実証実験の動向について情報収集を行い、今後、適切なセキュリティ対策などのリスク管理により、市民の信頼を確保することを念頭に置きながら、業務での利用範囲や導入方法などについて検討することが重要であると考え



※生成型AI
人工知能の一種で、与えられた入力データから新しいデータを生成することができる技術。

議会ホームページで本会議(一般質問)の映像を見ることができます

パソコン・スマートフォン・タブレット端末で本会議(一般質問)の映像を見ることができます。



利用方法

- ①下のQRコードかアドレスからアクセス
- ②視聴したい定例会、日程、議員を選択



<https://www2.city.tahara.aichi.jp/gikai/>

お知らせ information

令和5年第3回定例会(9月定例会)会期

8月31日(木)～9月25日(月)

日	月	火	水	木	金	土
8/27	28	29	30	31 本会議 (議案審議)	9/1	2
3	4 本会議 (一般質問)	5	6	7 文教厚生委員会 総務産業委員会	8 予算決算委員会 (補正予算)	9
10	11	12	13	14	15 予算決算委員会 (決算認定)	16
17	18 敬老の日	19 予算決算委員会 (決算認定)	20	21 議会運営委員会	22	23 秋分の日
24	25 本会議 (採決等)	26	27	28	29	30

開会時刻は10時です。(9月7日の総務産業委員会は13時30分)
 ※日程および時間は、変更になる場合があります。
 ☑マークの日に、一般質問の映像をケーブルテレビ・インターネットで中継していますので、ぜひご覧ください。
 本会議・委員会は、誰でも傍聴できます。



岡本 重明
青嵐会

多数決の民主主義の原則において、人口減少地域の意見が酌み取れなくなるか

市全体の発展のため、公平・公正な視点で施策を実施している



住みたい・住み続けたいまちづくりについて

問 農業活性化ゾーン等に住みたい・住み続けたいと思われる生活の利便性を市はどう捉えているか。

答 農村生活の基盤はもとより、医療や商業などを利用できる環境が必要と考えるため、市街地との交通アクセスを維持、充実させることで、暮らしやすい地域づくりに努めていく。

問 人口減少地域においては、地域活動や地域の祭礼などの担い手不足が危惧されるが、担い手不足への対応を市はどう捉えているのか。

答 田原市地域コミュニティ活性化研究会による検討や、各コミュニティ協議会などの活動に対する支援を継続する他、デジタル化などの新たな取り組みにより地域活動の維持に向けた後押しをしている。

問 幹線公共交通機関を地域の血流に例えた場合、農業活性化ゾーンにおいて、採算重視で血流が滞ることは仕方ないと考えているのか。

答 渥美線や路線バスは、通学や通勤、通院、買い物など、市民生活に欠かせないものであるため、採

算性はもとより利便性の向上、利用促進策を講じながら、運行事業者、地域、市民、行政などが協働して路線の確保・維持に努めていきたい。

問 遊休農地は美観を損なっているが、行政予算で解消していくのか、個人で対策していくのか。

答 農地は所有者または耕作者が適正に管理することが基本となる。利用状況調査で遊休農地と判断された農地は、意向調査を行い、農地の適正な利用を促していく。また、遊休農地となるのを事前に防ぐため、農地・園芸施設バンクなどを利用して、農地を担い手につなぐ取り組みや補助金交付などの支援を行っている。

問 多数決の民主主義の原則において、人口減少地域の意見が酌み取れなくなるか。

答 議会審議や全ての地域コミュニティ協議会の意見・要望などを踏まえ、持続可能な行政サービスの実現と市全体の発展のため、公平・公正な視点で施策を実施している。

このようなことが決まりました

令和5年第2回 臨時会
(5月15日)

議案第33号
令和5年度一般会計補正予算
(第2号)

物価等価格高騰支援給付金等の
補正予算を可決しました。

食品などの物価高騰対策として、住民税非課税世帯等及び、低所得の子育て世帯等へ給付金を支給します。

令和5年第2回臨時会議案一覧

議案
市長提出議案

31 専決処分の承認(市税条例の一部改正)

32 専決処分の承認(国民健康保険条例の一部改正)

令和5年度補正予算

33 一般会計(第2号)

※賛否の分かれた議案はありませんでした。

主な質疑

議案 No. 33

物価等価格高騰支援給付金支給事業

問 システムの業務委託については、令和4年と同じ業者だが、業務の監督はできているのか。

答 給付金支給に必要なシステムは、東三河の複数の市町での共同調達方法により導入しており、本市を含めた複数の市町により管理監督が行われている。

(5/15 本会議)

議員とたはらトーク

堀切市民館、六連市民館、泉市民館において、感染症防止のため、人数を絞って開催し、「困っていること」をテーマにご意見をいただきました。この他いただいたご意見は全て議員全員で共有し、政策提案の検討材料としていきます。*ご意見は抜粋して掲載しています



4月24日 堀切市民館

大雨の時、冠水や浸水するので、排水対策事業を進めてほしい。

部活がなくなるのが心配。

4月26日 六連市民館

有害鳥獣の駆除をしてほしい。

通学路の整備をしてほしい。



4月27日 泉市民館

水害の対策をしてほしい。

人口が減り、コミュニティ活動も困難になっている。



議員とたはらトークin渥美図書館

田原のまちの気になること、田原の未来のために提案したいことなど、議員と意見交換してみませんか。

- **日 時** : 令和5年8月19日 (土) 午後1時30分から午後3時まで (受付は午後1時から)
- **場 所** : 渥美図書館エントランスロビー
- **定 員** : 30人程度
- **申込方法** : 8月10日までに電話またはメールで議会事務局までお申し込みください。(お名前、年齢、連絡先)
- **実施方法** : ワークショップ型の意見交換会です。5名程度のグループに分かれて、グループの中で議論するテーマを決め、そのテーマについて意見交換を行います。
- **申込・問合せ先** : 田原市議会事務局 ☎0531-23-3533 ✉ gikai@city.tahara.aichi.jp

4月18日
広報広聴委員会勉強会



議会活動等に関する情報収集や市民との意見交換会を円滑に進めるための勉強会を開催しました。

5月17日、18日
新任議員研修



新任議員7名が親子交流館すくっとなど公共施設を視察しました。

5月31日
東三河広域連合議会臨時会



東三河広域連合議会の議長に古川美栄議員が選任されました。

6月4日
道の駅伊良湖クリスタルポルト
リニューアルオープン式典



リニューアルした道の駅伊良湖クリスタルポルトのオープン式典で議長が祝辞を述べました。

6月9日
ポロシャツ議会およびヘルメット
着用訓練



クールビズの取り組みの一環としてポロシャツ議会を開催しました。また、災害に備え、議場において防災ヘルメットの着用訓練を実施しました。

6月24日
田原市ゲームスポンサー「花だメロンだ波乗りだ! 渥美半島たはらデー」



シティセールスの一環でプロ野球公式戦のゲームスポンサーを務めた市のPRイベントに議長と副議長が出席しました。

令和4年度政務活動費

■ 令和4年度収支報告（令和4年4月～令和5年2月）

会派名	所属議員数	交付額(円)	支出額(円)	返還額(円)
自由民主党田原市議団	12人	2,640,000	2,151,766	488,234
市民クラブ	2人	440,000	98,856	341,144
公明党田原市議団	1人	220,000	211,983	8,017
無派不撓クラブ	1人	220,000	26,689	193,311
みんなの党愛知	1人	220,000	0	220,000
自由クラブ	1人	220,000	236,850	0

■ 令和4年度収支報告（令和5年3月）

会派名	所属議員数	交付額(円)	支出額(円)	返還額(円)
自由民主党田原市議団	13人	260,000	253,082	6,918
市民クラブ	2人	40,000	34,100	5,900
公明党田原市議団	1人	20,000	20,926	0
みんなの党愛知	1人	20,000	0	20,000
国民民主党田原市議団	1人	20,000	0	20,000

詳しい収支は、田原市議会ホームページをご覧ください。

■ 政務活動費とは

議員の調査研究、その他の活動をするために必要な経費の一部として、会派に交付される費用です。

田原市議会では、1人当たり、年間24万円（月額2万円）を会派に交付し、領収書等を添付した収支報告書が提出されています。

年度ごとに精算し、残額がある場合は、市に返還しなければなりません。



インタビュー

Vol.38
あかばねごども園の
園長さん

—開園から1年経過した感想を教えてください。

皆さまのおかげにより、あかばねごども園は、開園して1年3カ月になりました。当初心配されていた付近の交通渋滞や駐車場でのトラブルはなく、安堵しています。現在、園児は、126人おり、のびのびと元気がいっぱい過ごしています。保護者の皆さまには、イベントなどもご協力いただいております。大変助かっております。

—子育てをしている方に伝えたいことはありますか。

当園では、入園前のお子さんと保護者の皆さまを対象に園庭を開放しています。芝生が広がる園庭で楽しいひとときをお過ごしいただけると嬉しく思います。また、子育て支援ルーム「こがめルーム」は、平日毎日ご利用いただけますので、遊びにいらしてください。



—今後について教えてください。

園のコンセプトの、自分を発揮できる肯定的な雰囲気の中、子どもたちがかけがえのない「今」を充実して幸せに過ごし、主体的に人生を歩む基礎を育むよう一人一人に合わせた丁寧な保育を心がけていきます。これからも心地よい施設、わくわくする園庭で子どもたちのやりたいことが見つかれば、没頭できる園を目指します。

(聞き手…内藤喜久枝) 令和5年6月取材



発行/愛知県田原市議会 編集/広報広聴委員会 〒441-3492 愛知県田原市田原町南番場30-1 ☎ 0531-23-3533 FAX 0531-22-5952

📄 <https://www2.city.tahara.aichi.jp/gikai/>

✉ gikai@city.tahara.aichi.jp



社会福祉法人 福寿園

【法人本部】田原市六連町神ノ釜 9-3 Tel 27-0008

愛と感謝と奉仕

- 養護盲老人ホーム 福寿園
- 特別養護老人ホーム 田原福寿園
- 地域密着型複合福祉施設 田原ゆの里
- ケアハウス パシフィック
- 特別養護老人ホーム 渥美福寿園
- 地域密着型複合福祉施設 花の里



田原福祉グローバル専門学校

募集

パートさん

しその葉の摘み取り作業

内職さん

しその葉の結束・パック詰め



(応募) まずはお気軽にお電話ください。

TEL 0531-37-0447

(有)前田園芸 田原市江比間町二字郷中45
自宅: TEL0531-37-0447

※財源確保のため、有料広告として掲載しています。広告については、田原市議会が推奨するものではありません。